

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年1月17日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊万里市	代表者名	深浦 弘信
担当者部署	産業部	連絡先電話番号	0955-23-2184
担当者役職		担当者氏名	
住所	848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	市内のIT人材の育成に向け、小学校、中学校、高校を対象とするIT(プログラミング)教育の推進体制に対し、「プログラミング教育推進のまち」宣言を行うことについてアドバイスをいただいたことから、2月の市長定例記者会見のタイミングで宣言を行うことで調整することとなった。 また、人材育成を支援するためのサポーターズ組織を作ることにより、持続可能な取組みとなるとのアドバイスをいただいた。
アドバイザーへの要望事項	伊万里市で考えている事業スキーム(別紙)に対する支援

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年1月14日	15時00分	19時00分		240
3-2. 派遣場所	会場名	伊万里市役所		最寄駅	伊万里駅
	所在地	佐賀県伊万里市立花町1355番地1			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	9人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達のIT教育を推進するため、行政や教育関係者、企業がどのような関わりをもつのか。 市内で取り組んでいる、または、取り組むことが可能なIT教育のコンテンツの発掘。 	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達のIT教育に関し、行政や教育関係者、企業がそれぞれどのような立場で関わることにより、市内に戻ることができる環境を整備するのか。 市役所内の各課の役割分担をどうするのか。 	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 継続性のある事業とするため、企業や学生などでサポーターズ組織を立ち上げたが良い。 企業等の協力を得やすくするため、「プログラミング教育推進のまち」を宣言した方が良い。 子ども達にプログラミングを学ぶと何の役に立つのか具体的に分かりやすく示す必要がある。 	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> サポーターズ組織を作ることにより、その中の企業関係者などがコーディネーターの役割を担うことで、教育関係者がIT教育に関し気軽にアドバイスを受けることが可能な環境ができること。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>今回は、市担当者とアドバイザーが意見交換をする場であり、アンケートを取る必要がなかったため。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	行政、教育関係者、企業が連携し、小中高の各階層において、計画的・系統的なIT教育のコンテンツを提供することにより、市内の子ども達が市外に出ず、または市外に出てもいずれば戻ってきて、市内のIT関連企業で働くことができる環境を整備する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

